

雷の子

カトリック町田教会
町田市 中町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



「…自分の十字架を担って、
わたしの後について来る者で
なければ、わたしの弟子とな
ることはできない」

ルカ14.27

季節のしるし・時のしるし

主任司祭 小池 亮太

真夏の昼間、窓を開けておくと蝉の大合唱が聞こえてきて、厳しい暑さがさらに増すような気がしました。それでも、ツクツクボウシの鳴き声を聞いた時、「夏も後半に入ったな」と思い、また、『聖母の被昇天』を祝った日の夜から、木の上でアオマツムシが鳴き始めたことで、すでに秋が始まっていることに気付かされました。

この虫たちは、自分の鳴く時が来たから鳴くのですが、突然に現れて鳴くものではありません。暑い夏のある日に「夏の終わり・秋の始まり」を知り、鳴き出す日に合わせて、今までの殻を脱ぎ捨てる準備を始めます。また、卵から孵って幼虫になり、鳴く日に向けて準備を始めているのです。

植物も同じです。不思議なことに「茹だるような暑さが毎日続いている」と人間が感じていても、その暑い日々の中に「季節のしるし」を感じ取り、秋に向けて「ヘスイッチ」を入れるのです。強すぎる太陽の光と暑さの中、ジッとしていた植物が、いつもと変わらない暑い夏のある日、突然動き出します。葉を広げ、つぼみをつけて花を咲かせる準備を始めるのです。また、夏の間、次々に枝を伸ばし、葉を広げていた植物が突然に活動を止めます。それは、秋には葉を美しい色に染め、冬に葉を落として、春にその葉のあった所から新芽を出す準備を始めているのです。

虫や植物のように、人間も次の季節がやってくる時に合わせて準備を始めるためのセンサー（感知器官）を持っているのでしょうか？ 持っているのか、持っていたのに失ってしまったのか、もともと持っていなかったのか……。私には分かりませんが、一つ言えることがあります。それは、「イエスの死と復活を信じ、イエスを復活させた神の愛を意識しながら生きている人は、自分の直面している出来事、世界の情勢や歴史の中に、「時のしるし」を見出すことができる」という事です。虫たちが鳴き始めたことに気づいた時に、「秋は少しずつ、しかし確実に近づいてきている」と私が知ったように、歴史の中、また、いま起きている出来事の中に『「神の国」は、確かに近づいている』と気付くことが、私たちにはできます。

運営委員になつて

運営委員・財務委員長 神藤 由紀夫

また、植物や虫が「秋になる日がいづつなのか」を知って「ヘスイッチ」を入れるように、私たちは、「イエスの死と復活」という出来事によって、人が紡ぐ歴史に『「神の国」がやってくる日の「ヘスイッチ」が入った』ことを知っています。鳴く虫の声や植物の変化という「季節のしるし」に気づき「いつまでも続くように感じる夏の厳しい暑さも、もう少しすれば終わって、爽やかな秋がやって来る」と思っていたのか、持っていたのに失ってしまったのか、もともと持っていなかったのか……。私には分かりませんが、一つ言えることがあります。それは、「イエスの死と復活を信じ、イエスを復活させた神の愛を意識しながら生きている人は、自分の直面している出来事、世界の情勢や歴史の中に、「時のしるし」を見出すことができる」という事です。虫たちが鳴き始めたことに気づいた時に、「秋は少しずつ、しかし確実に近づいてきている」と私が知ったように、歴史の中、また、いま起きている出来事の中に『「神の国」は、確かに近づいている』と気付くことが、私たちにはできます。

数年間の財務委員をへて順番的なムードで財務委員長になりましたら、誰の推薦があつたかなかつたか自動的に運営委員になつてしまいました。今まで教会活動には深くかわつておりませんでしたので、これを機会に何らかの役に立てればと思います。また財務の立場からは、高齢化や諸物価値上りの中にあつて皆様の献金に感謝する次第です。

微力ではありますが、先輩方の御指導をおおきながら務めたと思いますのでよろしくお願いいたします。就任のあいさつはこれだけにしまして、全く別の話をさせて下さい。旅先の下関で出合ったザビエルと二十六聖人がとおった舟着場の話です。六年前下関まで旅行した時の事、巡礼スポットとして「聖ザビエル記念公園」「ザビエル記念聖堂」と近隣の教会はおさえてありましたが、下関駅から三キロ程の唐戸市場、魚市場と海鮮料理で有名

脇にある広場のような所に
見つけたのは「聖フランシス
コ・ザビエル下関上陸の地」
と「堂崎の渡し場跡」の碑で
す。ザビエルが九州に着いて
から本州に上陸した時、この
堂崎の渡し場から上陸したの
です。当時は今のように鉄道
や道路で本州と九州が接がっ
ていませんので、渡し舟でこ
こに着いたということです。

また二十六聖人も京都から連行され、この渡し場から九州に渡ったそうです。その渡し場の石が残されていたのです。

四百年の時を越え、彼らの足音や苦悩が伝わってきます

この旅の話、少し巻き戻して所は甲子園です。

甲子園教会、守護聖人フ
ンシスコ吉、ここにこの聖人
のレリーフと説明があります

彼は切支丹である事を申し出たものの捕えてもらえず、長崎へ護送されている切支丹の一行を追っていました。そしてこの甲子園の地で追いつき願ひかゝつて囚人の身となつたのです。そのフランシスコ吉が下関の堂崎の渡し場の石をどんな思いで踏んだでしょう。

下関へ観光する機会があれば、ぜひお立ち寄り下さい。

町田教会被災地支援センター

事務局 立木 欣吾

9月22日、「正義と平和」全国集会の麹町教会での分科会、「広域避難者の現実と課題」に参加しました。

分科会の「広域避難者」とは、2011年3月11日に発生した東日本大震災の地震と津波によって引き起こされた原発事故で、福島県から全国各地に避難した人を指します。

子供は放射線感受性が高いことから、被曝をさせたくない
と遠くまで避難した人たちが
たくさんいました。家族を養
うため、父親は福島に残り、
母子で避難するというのがそ
の典型です。2014年末で
も、県が把握しているだけで
4万5千人を上回る人が県外
に避難していると発表されて
います。

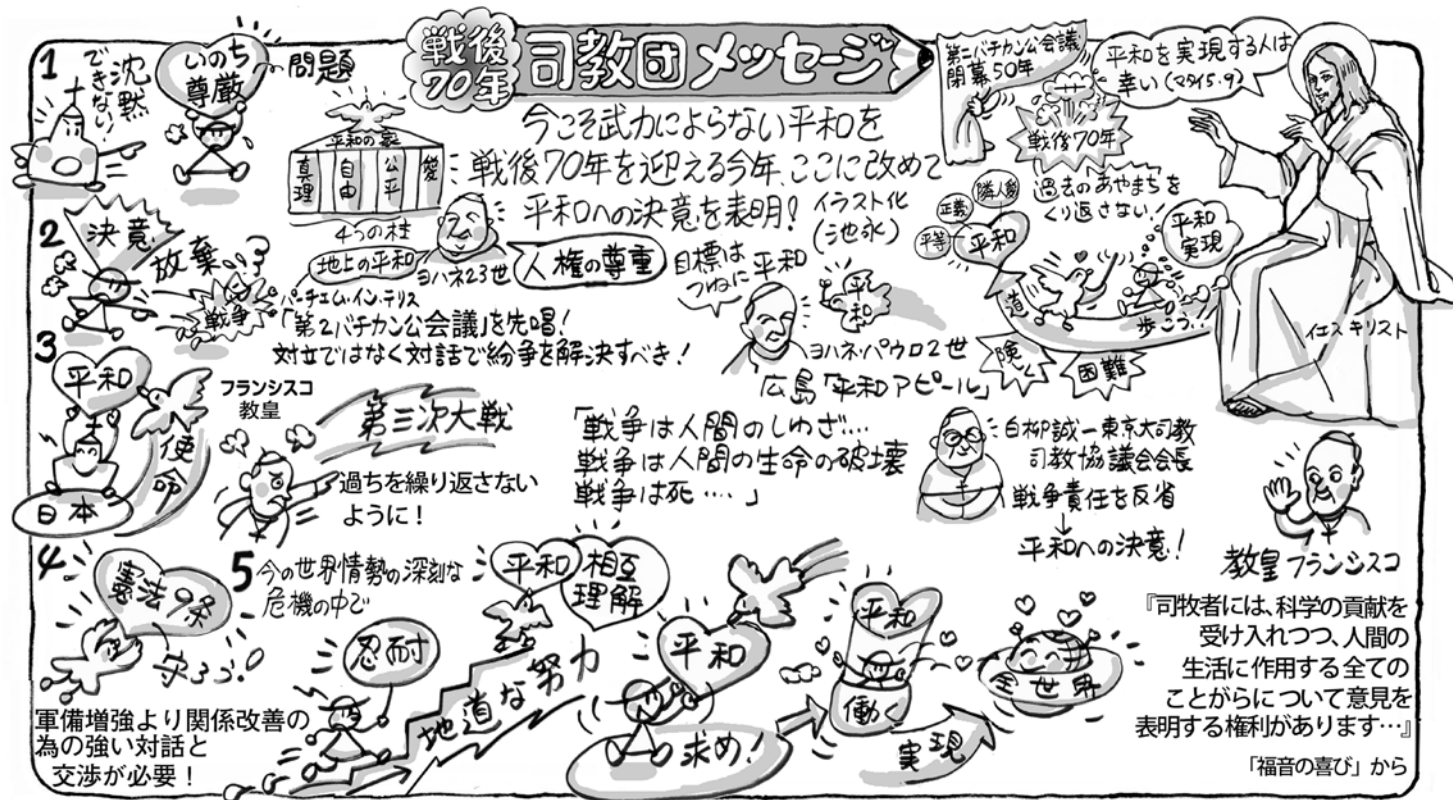
震災後、政府は五月雨式に何km以内は避難区域と指定しました。区域外からの避難者は、いわゆる自主的避難者と呼ばれ、公的援助に乏しく、損害賠償も見通しのない厳しい状況に置かれています。自主的避難者(区域外避難者)の多くは、もちろん好きこのんで避難しているわけではありません。放射能が子供の将来にどれだけ影響を与えるか

わからない、将来結婚等で差別されることのないようにと避難した人たちもいるそうです。

2012年7月には福島再生基本方針が閣議決定され、福島県への帰還政策が強調されるようになりました。かつては避難区域内として指定された地域も徐々に解除され、支援も打ち切られます。

しかし、実際は汚染水対策もうまくいかず、廃炉の見通しも立たない状況で、健康問題も現在進行形です。にもかかわらず、原発問題や避難者の問題がメディアで取り上げられることは少なくなりました。帰還政策が進められる中避難者は仮設住宅の使用期限の延長がなされるか否か不安な日々を送っています。また母子避難等で二重生活を余儀なくされ、生活費の負担が増え、苦しい生活を送っています。訴訟も増え、現在全国20以上の裁判所で、1万人を超える原告が、東電、国を相手にして原発賠償を提訴しています。

今回の講演会で、原発被災者が震災前の普通の生活に戻りたいけれど戻れない苦しさを抱えていることを知り、福島や避難者の現実を伝え続ける必要性を感じました。



ウエルカムテーブル黙想会

に参加して

小溝 茂雄

7月18日に本町田の汚れたマリア修道院で開催されたウエルカムテーブル主催の小宇佐敬二神父様（東京カリタスの家）指導による、黙想会に参加した。

小宇佐神父様による講話は、ルカ福音書の「放蕩息子」のたとえ話はエレミヤ書31章が下敷になっていると、この二つの話に基づいてお話しくださった。

悔いて神を思い起こし、神に立ち帰るならば、神は「死んでいたのに生き返った」と喜び、無条件で迎え入れてくれる。被造物である人間が苦しんでいるならば、神ははらわたを震わせて嘆き悲しまれ、立ち帰るよう呼びかける。これは咎めの神から憐みの神への変換であり、新しい契約である。誰もが神の憐みの中に招かれている。

一節ごとに、語句についてはヘブライ語やギリシャ語の語源から、事柄については当時の社会背景から、その持つ意味を説明して下さり、大変に感銘深いお話だった。

黙想会は朝10時から夕方4時までで、昼食はベトナム料理も加わった修道院のシス

ター方による手作りのおいしい昼食だった。

昼食ではテーブルを神父様とご一緒でき、いろいろお話を伺うことができた。小宇佐神父様は町田教会で神学生時代を送り、助祭叙階を受けられたとのことである。また、脊柱管が狭くなって脊髄や神経が圧迫される脊柱管狭窄症を長らく患っており、幾度か手術をされていることもお聞きした。多忙な中、痛みを抱えて黙想会を指導くださったことに感謝申し上げる。

講話のあとは黙想し、最後にミサに与かって終わった。緑に囲まれた修道院で、心静かに神の憐みに思いを寄せて過ごした一日だった。

『ドキュメンタリー 憎しみと救し』

を鑑賞して

パリスノモ・ヴォルティル

このドキュメンタリー映像は、七十年前に私達の国が戦争（マニラ市街戦）にあったことを思い出させてくれました。

フィリピンの前大統領のキリノ氏は戦争の犠牲者の一人です。キリノ前大統領は自分を拷問し、同国の国民を何十万人も殺し、自分の妻と三人の子供達まで殺した人をどうやって許せたのでしょうか。良い精神と美德の持ち主がフィリピンの大統領になり、

その後、日本軍の残酷行為を許してしまう、ということはどう考えても、神聖な働きがないとありえないでしょう。

人を許す力、にくしみを乗り越える力を与えて下さるのは神様だと私たちは教会で学びました。自分自身の力だけで、あんな許しを行うのがい

くら考えても、難しい、有り得ないと私は考えています。キリノ前大統領の決断はその後のフィリピンに大きく影響しました。フィリピンの学校で使われている歴史の本には、日本に対してにくしみをうながすような記載が一切ありません。

また、キリノ前大統領にならって、戦争を経験したお年寄りの方々からは、戦争の話を聞かされることはほとんどありません。自分の親、親戚から、日本は「憎い」と言われたことがあります。キリストが教える許しの教えはフィリピン人の信念、考え方に大きく影響したでしょう。

また、キリノ前大統領が自分が感じていたにくしみを捨て、フィリピンと日本の未来を考えてくれたことにとても感銘を受けました。彼が行ったのは偉大なリーダーだけができる行為だと思うからです。

私たちは、一人一人、毎日、

他の人と触れ合う中で、いろいろな争い、小さな戦争にさらされています。人をにくむ

か、許すか、最後には自分自身が決めることです。

許す力、許す恵みを与えられますように、神様に祈り続けるのが大切だと思っています。

【八月十五日終戦記念日のDVD鑑賞後のお話を要約していただいたものです】

フィリピン共同体から

町田教会の第一印象

Rima Nakamura
中村 梨和

信じられないかもしれないかもしれませんが、町田市に住む私のフィリピンの友人が町田カトリック教会のことを知ったのは十年もたつてからのことでした。

それまで、彼女はミサにあずかるために目黒まで通っていたのです。こんな近くに教会があったことを知った彼女はとても喜びました。それは町田市とその周辺に住むフィリピン人全員にとっても同じ喜びなのです。人びとがともにミサにあずかることのできる場所、神の前で人びとが家族のように集いあう恵みの場なのですから。

私は町田市で生まれ、フィリピンで育ちました。セント・ラ・サル大学（コミュニケーション専攻）卒業後、日

本に来て働きはじめて六ヵ月になります。

初めて町田教会の聖堂に入った時、とてもシンプルな教会だと思いました。フィリピンの教会のように、たくさんの装飾に取り囲まれているからです。町田教会はシンプルで素敵で利用しやすい教会です。フィリピンの友人たちに聞いても、ほとんどの人が同じ意見です。でもそれは教会の外見についての話です。全体としての第一印象は、荘厳と寛容でした。恵みあふれるミサがあり、親切で友好的な信者さんがいるからです。フィリピン人の友人たちも

高木賢一神父様

銀祝おめでとございます

7月26日(日)



2015年 町田教会ヤコブ祭

WA(和) WA(話) でWA(輪) になろう

●日時: 10月25日(日) 第2ミサ後~14時30分

●会場: カトリック町田教会

今年はバザーを縮小しその分、文化祭的要素を取り入れ、日頃活動している教会の方々や子供たちの発表の場を設けました。皆様方の親睦と輪をテーマにし、地域ブロックとして新しい取り組みにチャレンジしてみようという試みです。バザーの他に、文化祭は開始時間12時頃をめぐり聖堂で行う予定です。

■文化祭出し物は ◆聖歌奉仕グループの歌・ライヤー

◆日曜学校の子供たちの歌 ◆ギター同好会

◆フィリピンの方々の踊り。計1時間40分の予定です。

子供たちをはじめ、参加者一同、日頃の練習の成果を発表致しますので、皆様のご観覧、ご声援をよろしくお願い致します。

町田教会ヤコブ祭実行委員会

おごそかな雰囲気を感じるとともに、とても温かく思いやりあふれる教会だと言います。ですから、教会を訪れるたびに、私たちは第二の故郷にもどったように感じるので。信者の皆さんはとても親切で、開放的です。ここに来るのが楽しみです。教会の建物はシンプルかもしれませんが、信者の皆さんの信仰とこころによって、それは強く美しくなると思います。

犠牲献金

中高生会

8月2日 7,204円
(ベロニカ苑へ)9月6日 9,655円
(ベロニカ苑へ)

(翻訳文責編集部)

ね。町田カトリック教会に通うすべてのフィリピン人は、この場所に呼んでくれた神様にいつも感謝しています。これは人生の宝物です。では、今度はあなたの番です。あなたの町田教会の第一印象はどうでしたか。聞かせてください。



夏期学校

7月31日~8月1日

▶右から佐藤正明さん、加瀬弘子さん



私の戦争体験

8月9日(日)

▶中高生3人が参加。町田教会に宿泊し、バーベキュー、花火、富士急ハイランド遠征。
御岳山にて小学生7人が参加。ハイキング、花火、キャンドルサービス、ゲーム大会、ミサと充実した1泊2日。



中高生会

8月22日~23日



▲答唱詩編を歌うフィリピン女性たちのコーラス

聖母被昇天ミサ

8月15日(土)

信者動静

2015年8月~10月

(個人情報のため、削除しています)